

子育て支援員(仮称)研修制度に関する検討会 第3回専門研修WT(地域子育て支援)	資料 5
平成26年11月27日	

専門研修カリキュラムの検討について (利用者支援事業特定型)

【方向性】

第2回のご議論を踏まえ、第2回の事務局案をベースに以下の点を特定型の研修カリキュラムに反映する。

- 特定型は、自治体によって実施内容の違いが大きい可能性があるため、研修カリキュラムは自治体がある程度自由に設定できるように汎用性が高い内容とする。
 - 基本型の研修カリキュラムの「地域資源の概要」については、特定型が保育に特化した利用支援を行うことから、特定型の研修カリキュラムでは、「保育資源の概要」として、保育の内容に特化して把握する。
また、保育資源の確認のための簡単なグループワーク等を取り入れることも可能とする。
 - 基本型の研修カリキュラムの「利用者支援専門員に求められる基本的姿勢と倫理」、「記録の取扱い」については、特定型の場合でも必要となることから、研修カリキュラムに組み込む。
- ※ 各科目の目的等を明確にし、自治体で一定の内容を担保するために科目・内容等に加えて目的を追記。
- ※ 講義①②などは、基本型と合同開催も可能とする。（合同開催の場合は基本型の時間数に合わせる）

専門研修カリキュラム（利用者支援事業特定型）について（案）

科目	内容	目的	時間数
1. 講義・演習			
① 講義 利用者支援事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・事業成立の背景と目的 ・事業内容 ・当該地域における実施状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者支援事業の意義、内容、機能等について理解する。 	60分
② 講義 利用者支援専門員に求められる基本的姿勢と倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者支援専門員の役割 ・支援における基本原則～受容と自己決定の尊重信頼関係の構築～ ・特別な配慮が必要となる利用者への配慮事項 ・個人情報と守秘義務 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援にあたっての利用者支援専門員としての役割と基本的な心構えについて理解する。 ・特別な配慮が必要となる利用者を支援する際、配慮すべき点について理解する。 ・守秘義務と情報共有の重要性について理解する。 	60分
③ 講義又は演習 保育資源の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保育制度の概要 ・保育資源の種類と内容 ・ニーズに応じた保育資源・サービスの提供の方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに応じた情報提供や支援体制の構築のために、保育制度の概要と地域にある保育資源の種類、内容について把握し、その提供方法等について理解する。 	90分
④ 講義又は演習 記録の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・記録の目的 ・記録の種類、項目 ・記録の書き方 ・記録の管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の適切かつ円滑な実施のために、記録の目的、種類、手法（管理方法含む）や重要性について、理解する。 	60分
⑤ 講義 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りとグループ討議 	<ul style="list-style-type: none"> ・履修した内容の総括と今後の課題認識を確認する。 	60分

＜合計 330分(5.5時間)＞

(参考) 第2回WTで提示した専門研修カリキュラム(利用者支援事業特定型) 事務局案

科目	内容	時間数	備考・実施主体
1. 事前学習 (8時間)			
① 演習 地域資源の把握	・地域資源の把握 ・受講者の周りの地域資源の情報収集と整理の実施	(480分 (8時間) 相当)	事前宿題形式 都道府県・市町村
2. 講義・演習 (8時間)			
② 講義 利用者支援事業の概要	・事業成立の背景と目的 ・事業の内容 ・当該地域における実施状況	60分	都道府県・市町村
③ 講義 地域資源の概要 I	・社会資源とは ・地域における社会資源の把握と連携	60分	都道府県・市町村
④ 講義 利用者支援専門員に求められる基本的姿勢と倫理	・利用者支援専門員の役割 ・支援における基本原則～受容と自己決定の尊重、信頼関係の構築～ ・特別な配慮が必要となる利用者への配慮事項 ・個人情報と守秘義務	120分	都道府県・市町村
⑤ 講義又は演習 記録の取扱い	・記録の目的 ・記録の種類、項目 ・記録の管理	30分	都道府県・市町村
⑥ 演習 事例分析 I ～ジェノグラムとエコマップを活用したアセスメント～	・ジェノグラムとエコマップの書き方 ・事例に基づくジェノグラムとエコマップの作成と支援方法の検討	90分	都道府県・市町村
⑦ 演習 事例分析 II ～社会資源の活用と コーディネーション～	・事例による地域における社会資源の活用と連携の検討	90分	都道府県・市町村
⑧ 講義 まとめ	・利用者支援事業で求められる姿勢についての再確認	30分	都道府県・市町村
3. 見学実習 (8時間)			
⑨ 見学実習 地域資源の見学	・地域資源の実際を見学により学ぶとともに、担当者との面識をもつ	480分 (8時間)	市町村

※赤枠部分の科目を特定型の研修カリキュラムとして位置づけ

<合計 1,440分(24時間)>